

2023年度学校評価報告書(香里ヌヴェール学院中学校・高等学校)

学校目標	地域に愛される学校を目指し、創立以来の目標である「平和の天使」を育成していく。
	本校で学ぶ子どもたちが、多様性と課題に満ちたこれからの世界の中で、“神の手足となり、人々の心を平和のうちにつなぐ人”として仲間のために生きるには、真理を探究し続ける力と、幸せを実現するための最適解を仲間とともに創り出す力を育みが必要である。知識・情報・智恵を活用し合い、互いの持つ力を引き出し合い、仲間とともに最適解を創り出す経験を、子どもたち自身が豊かに積み上げていけるよう、探究学習を軸にした学びの場を提供していく。

ICT（オンライン学習）	最新の学びの実現と個別最適化
英語教育	世界の人々と、平和の実現にむけた対話を深めるツールとしての英語力や国際関係力を養成
探究	世界の仲間と協働し、多様な価値観や能力を引き出し合い、真の幸せの創造へと昇華していく力を養成

学校自己評価			
重点目標	取り組み計画・内容	評価指標	自己評価
探究学習実践による教育充実（探究・英語教育・ICT教育）	①ICT教育	オンライン教育実践について ①教員全員がICTを活用する環境にあるか ②教員全員がICTを用いて授業できているか。	○ フルタイムの教員全員にiPadを持たせ、実践する環境を作っている。 ①全館Wi-Fi化し、全員が利用することができている。 ②フルタイム教員全員がiPadを活用している。 課題として、非常勤講師に対してICT教育研修を行う必要がある。
	②英語教育	英語教育の充実を図る ①国際教育が実施できたか。 ②コミュニケーションを前提とした授業を行えたか。	○ ①ターム留学、1年留学ともにコロナ禍であっても実施することができた。 ②コミュニケーションを前提とした授業を英語で実施した。具体的には約6割の授業において、コミュニケーションを図るよう工夫した。
	③探究	探究学習の充実を図る ①フィールドワークなど、外部へ積極的に出ることができたか。	○ 昨年に引き続きコロナ禍により、様々な探究活動が制限された。ただし個人における調査研究領域は比較的活動しやすく、研究発表に関しても、オンラインであるが実現することができた。 ①フィールドワークにはあまり出ることができなかったが、代わりにオンラインを用いた参画を行なった。
教育のレベル向上	各種教員研修の実施	各種研修の実施の有無 ①ICTのスキルアップ向上の取り組みを行なったか。 ②建学の精神を考える取り組みを行なったか。	○ ①ICT教育のスキル向上にむけた少人数グループ単位の授業研究会を5回以上実施 ②宗教研修1回実施、人権研修1回実施・他校教員との授業検討会の開催(自主参加)
教育環境の整備	生徒増に対応する、安心・安全・快適な環境作り	各種設備の新設や増設、人員の増員と確実な配置ができたか。そのために必要な工事や教職員採用を行なったか。	○ 1タブレット一斉使用に堪えるwi-fi環境の整備(環境の強化)⇒wi-fi環境整備が完成。電波の弱い部分には、ホーム5Gを設置した。オンライン授業対応でうまく活用できた 2防犯防災設備の充実・防火設備定期検査(法令による実施)・生徒数増に伴う守衛体制の強化、防犯カメラの増設、廊下への緊急連絡用内線電話の設置⇒次年度全電話システムの更新に合わせて実施 3設備の点検と改修 4その他 ・セブンイレブン自販機の稼働、キッチンカーの導入・休憩スペース、各種自動販売機の増設

学校関係者評価
・設備面・安全面・衛生面等についての評価が高い傾向にあった。 ・「学校は、一人ひとりに充実したサポートを提供していると感じますか」との問いに対する「そう思う」の回答率が高い。 実際に教員たちは、生徒の顔色の変化や体調不良を敏感に見抜いており、とても有難い。 ・校則の緩和を求める旨の意見が散見される。校則とは時代の変遷に合わせて変化していく性質のもので、校則の変更を検討する際には、伝統とのバランスを大事にしながら、慎重に行ってほしい。 ・回答内容を学年別で見た場合、高校Ⅲ年生からの友好的な意見が多い。在学中から卒業に向けて、徐々に学校を好きになっていく生徒が多い傾向が見て取れる。